

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 6年 2月 8日

事業所名:放課後等デイサービスかのん

サービス種類:(放課後等デイサービス)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・利用者同士が安全に過ごせる日もあれば状況によっては狭く感じる時もある。 ・利用者によってパニックが生じる時にはスペースが確保されずらい時がある。 ・必要なスペースはあるが、多人数や利用者の状況によっては玄関スペースを使用している。 ・特別な個室が用意されていないため、短期入所での個室を使用することがある。	はい19人 どちらでもない4人 いいえ0人 分からない2人 ・人数が多いかな?と思うこともあるが、工夫して活動されていると思う。(保護者意見) ・八鹿出張所は広くなったと思う(保護者意見)	・必要に応じて個別対応できるスペースを作っていく。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか?	・基準に基づいた配置をしている(保育士、児童指導員)・送迎等兼務の職員配置となる時間があり、調整している。 ・利用者の状況によっては不足している感がある。(特に土曜日) ・利用者が常に視界に入るようにスタッフ配置している。	はい16人 どちらでもない6人 いいえ0人 分からない2人 ・しっかり寄り添ってくれてると思います。(保護者意見) ・何人が適切かわからない(保護者意見)	・認可基準を順守し、適正な人員配置をしていくとともに専門職の配置も視野に入れていく
	3 生活空間は、本人にわかりやすい環境になっているか。また障害の特性に応じ、設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切にされているか。	・当日のイベントやプログラム、生活等視覚的にもわかりやすくできるよう環境整備に努めている。。	はい19人 どちらでもない4人 いいえ0人 分からない2人 ・何がどこにあるか本人もよく把握していると思う(保護者意見)	・引き続き、おもちゃや療育資料とうわかりやすくまとめて収納していく
	4 生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた生活空間となっているか。	・利用者降所後、毎日掃除を行い清潔さを保ち、支援に必要なものは整理し快適に過ごせるよう努めている。 ・遊ぶ空間、勉強する空間を極力分けるようにしている。	はい19人 どちらでもない1人 いいえ0人 分からない5人 ・気持ちよく過ごしているようです(保護者意見)	・安全かつ安心して利用者さんが過ごしやすい環境整備していく。また、日常の清掃を含めて常に清潔感のある空間を確保していくように努める
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・PDCAサイクルについては現在策定されていないが、毎日の申し送り等において共有し意見交換しながら共通理解を図っている。		・専門的な方からの指導を受け、PDCAサイクルを理解したうえで、作成していく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・第三者評価行っていない。		・取り組んでいる事業所から話を聞くなどして、三者評価の検討をしていく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・毎月、1回は職員研修を行っている。長期休み(夏休み等)研修が行えない月は翌月に日程を変更し行っている。		・外部団体や専門的なDVDなど駆使し、開催するとともに、様々な研修会や講習会にも積極的に参加していく。
1	子どもと保護者のニーズや課題がしっかりと分析されたうえで、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画が作成されているか	・担当者会議や個人記録を元にモニタリングを行い、支援計画を策定している。	はい20人 どちらでもない3人 いいえ1人 分からない1人 ・定期的な会議を開いていただき、作成できている(保護者意見)	・保護者や家族の話を十分理解したうえで、関係機関とも連携を取るなどし、作成していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供(続き)	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	・担当者会議や個人記録を元にモニタリングを行い、支援計画を策定しているが、具体的な内容については当日に決めている。	はい21人 どちらでもない2人 いいえ1人 分からない1人 ・計画に沿った支援が設定されている(保護者意見)	・今以上に具体的支援策を設定していく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・支援計画を元に、それぞれの利用者に合ったスタッフ間で共有しながら支援に努めている。	はい20人 どちらでもない3人 いいえ0人 分からない2人 ・計画に沿った支援が行われている(保護者意見)	・十分に検討された支援計画に基づき、スタッフが計画、支援内容を共有した実施していく。
	4 活動プログラムが固定化しないような工夫されているか	・活動記録を振り返りながら、利用状況に合わせて季節の行事やプログラムを作成している。 ・常に情報収集を行い新しいプログラムや活動をしている。 ・外出、クッキング、工作等利用時間に合わせて活動を考えている。・スタッフ間で意見を出し合いながら担当を決めプログラムを作成している。 ・行事計画書を作成し、細かな予定や職員配置をしている(季節のプログラム)	はい20人 どちらでもない1人 いいえ0人 分からない4人 ・いろいろなイベントを開催していただいている(保護者意見)	・インターネット等から様々な取り組みを調べたりしながら、一つのプログラムにとらわれず、取り組んでいく。
	5 児童等発達支援の場合の保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・行われていない。	はい10人 どちらでもない3人 いいえ4人 分からない8人 ・そういうことがあったことは聞いていない(保護者意見)	・課題を解決しながら少しずつ取り組んでいきたい
	1 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・平日は限られた時間の中で、個々の計画に沿った支援を行い、時間的余裕のある土曜、長期休暇には社会体験など踏まえて工夫している。		・引き続き取り組んでいく
2 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・日頃の申し送りや会議の中で利用者の状況や様子、支援内容など情報の共有をしている。		・引き続き取り組んでいく	
3 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・業務終了後もしくは翌日にスタッフ間で共有している。		・引き続き取り組んでいく	
4 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・モニタリング以外でもケース会議ができたと思う。(ケース記録がない) ・日誌、連絡帳など確実に記録している。		・記録の重要性を再認識し、次回の支援計画に落とし込めるよう制度化していく	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	5	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・定期的にモニタリング会議を行い、計画の見直しを行い、保護者の承認を受けている。	・引き続き取り組んでいく。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	・関係者による担当者会議に出席している。	・引き続き積極的に参加していく
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・児童発達支援事業所からは相談お員を通じて情報の共有ははかられている。(サポートファイル等)	・情報共有をしながら取り組んでいく
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	・可能な限り保護者を通じて行っている。 ・相談員を通じて行っている。	・学校情報やその他からの情報を共有をしながら取り組んでいく
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・事例検討会で適切なアドバイスを受けれた。 ・日程が合わず受けられなかった。	・積極的に取り組む
	7	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・現在では十分にできていないが、地域の文化祭への参加をしている。	・積極的に取り組む
	1	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	・利用者負担は契約時に、支援内容は支援計画変更時に行っており、日常は送迎時等に話している。	・法改正にともない
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか	・計画策定時更新時に保護者と会って説明している。	・引き続き取り組んでいく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明等	3 保護者に対して、家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	・それぞれ個別に相談対応している。	はい7人 どちらでもない5人 いいえ4人 分からない9人 ・あれば行ってみたいが日程がなかなか合わないの で何回か実施してほしい(保護者意見) ・アドバイスを頂けることがある(保護者意見)	・ペアレントトレーニングに取り組むための個別の研修会が必要と感じており、トレーニングのニーズを把握し、必要に応じて取り組んでいく
	4 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解が理解できているか	・連絡ノートの活用、送迎時の聞き取り等、日頃から意識し、情報交換を行いながら共通理解に努めている。	はい21人 どちらでもない3人 いいえ1人 分からない0人 ・送迎時に話はできている。(保護者意見)	・引き続き努めていく。
	5 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	・相談を受けた際には助言をするなどして対応している。	はい14人 どちらでもない5人 いいえ4人 分からない2人 ・その都度連絡帳でやりとりをしている。(保護者意見)	・関係各所と連携をとったり、少しでも助言につながるよう努めていく
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	・保護者会的なものは組織されていない。イベントにより交流を即したりもするが、参加者は少ない。	はい5人 どちらでもない5人 いいえ1人 分からない13人 ・保護者参加のイベントはたまに行われていますが、保護者のみの会議などは参加したことがない(保護者意見)	・過去、数回イベントへの声掛けに反応がなかった反省を踏まえ、保護者会の必要性など検討していく。
	7 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合の迅速かつ適切に対応しているか	・相談・苦情・事故対応マニュアルを策定し取り組んでいる。	はい12人 どちらでもない0人 いいえ0人 分からない12人 ・何かあればすぐに相談させてもらっている(保護者意見)	・マニュアルに沿って対応していく。また関係自治体への報告を速やかに行っていく。
	8 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	・保護者とは連絡帳や送迎時に意思疎通はできている。利用者とは言葉、文字、イラストなどで意思の疎通を図っている。	はい20人 どちらでもない2人 いいえ0人 分からない2人 ・気兼ねなく相談している(保護者意見)	・一つの形にとらわれず、手法も含めて取り組んでいく
	9 定期的な会報やホームページ等で、活動概要や行事予定などについて、子どもや保護者に対して発信しているか	・個人情報に細心の注意をしながらSNSやお便りで活動内容を発信している。	はい20人 どちらでもない1人 いいえ0人 分からない3人 ・楽しそうに活動している姿が見れてうれしく思う(保護者意見)	・引き続き取り組んでいく。SNSの配信、「かのんだより」双方ともできるだけ頻繁に行えるようにしていく
	10 個人情報の取扱いに十分ちゅういされている	・十分な対応ができている。	はい20人 どちらでもない1人 いいえ0人 分からない3人 ・十分注意されてと思う(保護者意見)	・気を抜かず、個人情報の重要性を意識し、取り組んでいく
	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	・感染症以外、各マニュアルが未策定。保護者への説明はできていない。	はい13人 どちらでもない2人 いいえ0人 分からない9人 ・設定されていると思うが、それぞれの場合どうするのかわかっていない(保護者意見)	・各マニュアルの縮小版を作るなどして配布していきたい
	2 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか	・消防計画に基づいた避難訓練は今年度はできていない。消火器の使用方法についての訓練を行った。	はい10人 どちらでもない0人 いいえ0人 分からない14人 ・訓練は行われていると子供からは聞いている(保護者意見)	・地震、洪水等、事業所に合った計画を作り、計画に基づいた避難訓練を実施していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止マニュアルを元に研修を行っている。		・マニュアルと指針をもとに引き続き確実に取り組んでいく
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・基本的に身体拘束は行っていない。		・身体拘束は行っていないが、必要になった場合指針に基づいて、保護者の説明や支援計画に記載し、保護者の理解を得て取り組む
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・保護者を通じて対応している。		・食事提供は行っていないが、クッキングプログラム時には配慮していく。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・ヒヤリハット事例が発生した時は、日誌に記載の上、スタッフで確認している。		・重要性を認識し、ヒヤリハットの記載を進め、スタッフ共有し、改善方向を決めていく